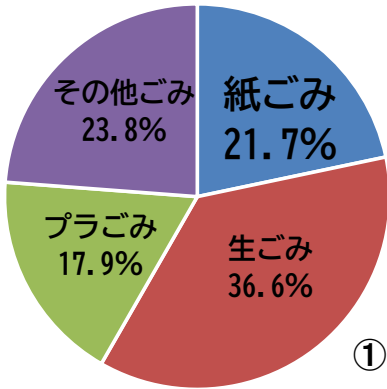


2.古紙回収の現状について

■組成調査からわかる再資源化できる紙の現状

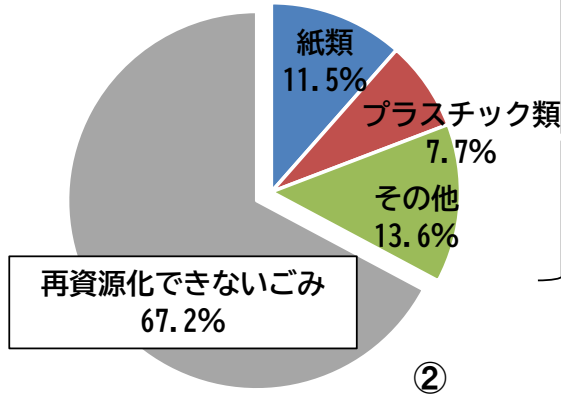
那珂川市全体での可燃ごみ量は年間 **7,596**トン (令和6年度末時点)

可燃ごみ全体の割合 (R3年組成調査より)

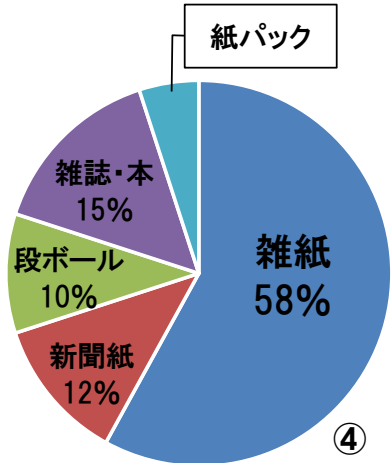
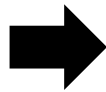
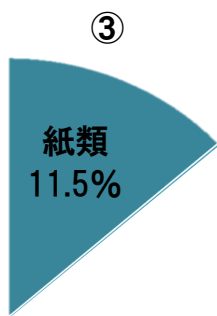


(令和6年度末時点)

可燃ごみの中で再資源化できるごみの割合 32.8% 2,491トン



再資源化できるごみのうち紙ごみは、 $7,596\text{トン} \times 11.5\% =$ **874**トン



可燃ごみに含まれる再資源化可能な紙の中に $874\text{t} \times 58\% =$ 約507tの雑紙が含まれている。

R6年度 古紙等回収量は、433t です。
 再資源化できる紙ごみ量 874t > 古紙等回収量 433tであり、
 まだまだ古紙リサイクルが可能です。
 再資源化できる紙ごみ量 874t を補助金に換算すると約524万円となり、約524万円分の古紙が紙ごみとして焼却されて非常にもったいない状況となっています。